

3 章

単元の計画

1、単元の計画

❶ 第1学年 「なぎなた」に親しむ

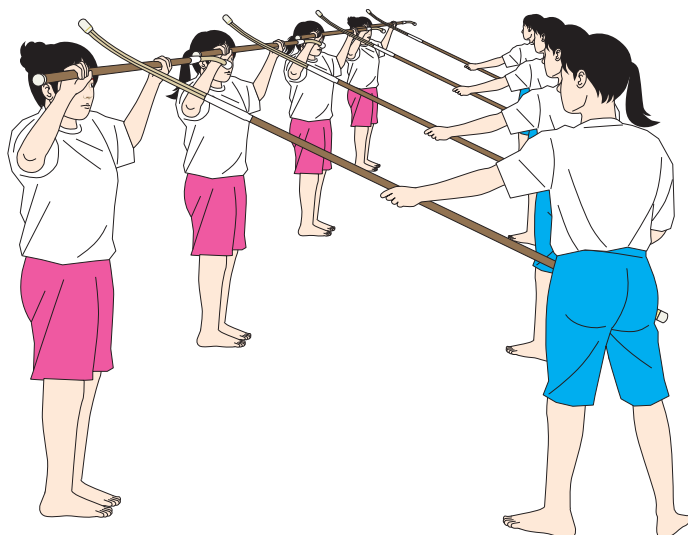
❷ 第2学年 「なぎなた」を楽しむ

❸ 第3学年 「なぎなた」を^{たの}愉しむ

3 年間の見通し

第1学年	第2学年	第3学年
<u>基本の構えと動作を習得する</u> <u>2人で協力して技を表現する</u>	<u>基本の技を発展させる</u>	<u>既習した技を使う</u> <u>技の攻防を楽しむ</u>
・打ち返しを習得する (打ち返しは、技を使った 攻防の展開)	・しかけ応じを習得する (しかけ応じは、技を使っ た攻防の展開) ・技の観点がわかる ・演技競技会ができる	・防具を着装し、技の攻防を 楽しむ ・リズムなぎなたを創作し、 発表する

本稿では、武道「なぎなた」に親しむことを目標として、第1学年10時間の学習内容を取り上げ、イラストを使用しながら解説する。



2、「なぎなた」単元の目標

- ・基本動作や持ち替え操作など、基本的な技を身に付け発表し合うことから、技が使える喜びを味わう。
- ・礼儀作法や伝統的な行動の仕方を学び、相手を尊重する心を育て、日常生活の中で活かす習慣をつくる。
- ・対人で行うことから、お互いに工夫し、教え合ったりしながら、正しい技が使える喜びを味わう。
- ・お互いの距離（間合）を知り、安全に配慮しながら、危険回避や運動の見通しができる。
- ・生涯にわたり運動やスポーツに親しむための自主的な学習方法を見つけることができる。

3、第1学年・単元の評価規準

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動への 知識・理解
●なぎなたの学習に関心を持ち、自主的に取り組もうとしている。 ●健康・安全を確保している。 ●互いに助け合い教え合おうとしている。 ●相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を果たそうとしている。 ●自己の責任を果たそうとしている。	●なぎなたを継続して楽しむための自己に適した関わり方を見つけている。 ●仲間に対して技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。	●なぎなたの基本動作から、基本となる技と打ち返しができる。 ●なぎなたの基本となる技からしかけ応じができる。	●なぎなたの伝統的な考え方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ●技の名称や練習の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ●打ち返しの行い方について、学習した具体例を挙げている。